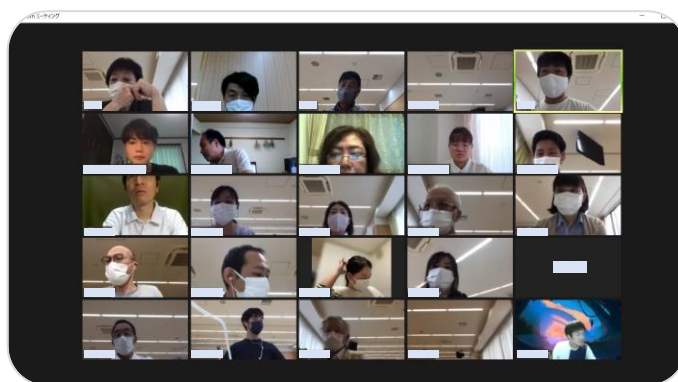


TOPICS

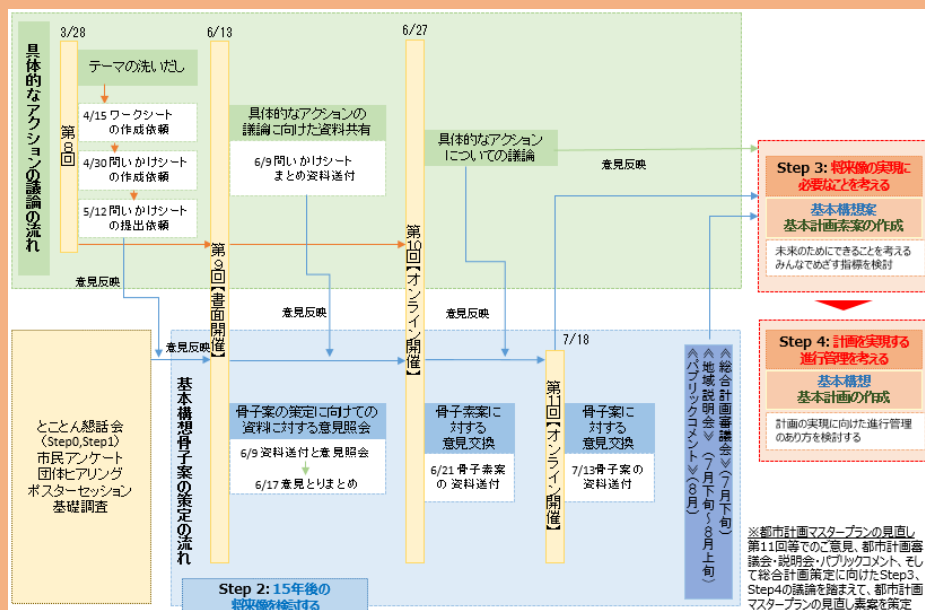
第10回目は、桃山学院大の学生も参加し、オンラインで開催しました。
「具体的なアクションの検討」についてグループ別に話し合い、
「15年後の将来像の検討」に向けて、基本構想と都市計画マスター
プランの骨子素案について、全体で意見交換を行いました。

本日は、「具体的なアクションの検討」について、4つのテーマ別のグループに分かれて、より具体的な取組や新たな課題、考えられる将来像などを話し合いました。

また、「基本構想」と「都市計画マスタープラン」の骨子素案についての説明のあと、全体で意見交換を行いました。



第8回とことん懇話会開催から4月以降、感染症拡大の影響でとことん懇話会をお休みしている間や書面開催となった第9回では、書面でワークシートや問いかけシートの作成をお願いしていました。
以下、ここ直近の議論の流れです。



■ 開催概要

第10回：令和3年 6月27日（日）

場 所：オンライン+市立福祉総合センター3階大会議室（臨時オンライン会場）

参 加 者：市 民：現地オンライン 5名 オンライン 9名

若手職員：現地オンライン 8名

桃山学院大学 岩田 考先生 + 学生7名

議 題：1.「具体的なアクション（取組や課題など）」について

2.「次期総合計画の基本構想骨子素案」と「都市計画マスタープラン骨子素案（見直しの視点）」について

とことん1

到達目標 「具体的なアクション（取組や課題など）」について、共有しましょう！

「教育・文化」、「都市基盤・産業」、「市民生活・環境」、「健康・福祉」のグループに分かれ、取組や課題、将来像について話し合いました。

分野	テーマ	主な意見・取組
教育・文化	1.教育 2.祭りのあり方	1.子どもは地域で育てるという意識で接すること、先生が教育に取り組みやすい環境をつくるのが大切 2.祭りが地域コミュニティを支えている部分があると考えられる
健康・福祉	1.協働	1.「個」の時代が進む中、官民だけではなく「共」の視点が必要／支援を必要としている人（障害児や外国人、老老介護など）の課題を議論し、支援する仕組みが必要
市民生活・環境①	1.防災 2.生活環境	1.災害への備えに対する意識強化が必要／近所の助け合い（ネットワークづくり）も重要 2.自分の行動が環境に及ぼす影響を考えるなど市民の意識改善が必要
市民生活・環境②	1.防災 2.生活環境	1.家庭内で防災を考える機会を増やしたり、津波避難訓練や台風避難訓練を行うなど災害種別で防災を考えることが必要 2.ごみの分別について自分自身でしっかり調べて理解することが大切
都市基盤・産業	1.情報発信 2.コンパクトシティ	1.市の魅力をPRするために体験型の催しを開催することや、発信すべき情報を共有し議論できる場をつくる必要がある 2.地域拠点の形成と拠点へのアクセス性の向上が必要

とことん2

到達目標 「次期総合計画の基本構想骨子素案」と「都市計画マスタープラン骨子素案（見直しの視点）」について話し合いました！

今回と次回の2回で、次期総合計画の構成や将来像、基本目標の設定を含めた基本構想の骨子素案の検討、また都市計画マスタープランの見直しの視点について意見交換を行って取りまとめを進めます。今回は、それぞれの骨子素案について説明し、説明を聞いて感じたことや意見について、全体で話し合いました。

とことん3

懇話会後の参加市民・学生・若手職員からの感想です



市民 学生

- ・ 人口減少は自然現象ではない。人の力で上向きにすることができると思うので、子育てしやすい、住みやすいまちづくりを行っていく必要がある。
- ・ 世代によって考え方が異なることを知ることができて良かった。
- ・ 市民にだけではなく市外にもアピールするには、観光や就職など、世代や目的によってアピールするポイントが異なるという意見が印象に残った。
- ・ 基本構想骨子素案が市民の声に基づいて作成されていることが実感できた。



若手職員

など

■ 今後の予定

【第11回】 令和3年 7月 18日（日） 基本構想骨子案について、都市計画マスタープラン骨子案について
桃山学院大学の学生による発表



7/31～8/7（圏域別説明会） 8/2～9/2（パブリックコメント）

【第12回】 令和3年 8月 8日（日） Step 3：将来像の実現に必要なことを考える

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 （tel. 072-423-9492）